



Marc Chagall

版画家としての
マルク・シャガール

シャガール傑作版画展

好評開催中 10月14日(月)まで

- 観覧料 一般600円 高校・大学生400円 小・中学生200円
土・日曜日は小・中学生観覧無料
- 開館時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(ただし9月16日、23日、10月14日は開館。9月17日、24日は休館)

●マルク・シャガールと版画

20世紀最大の画家の一人であるマルク・シャガール(1887-1985)が97歳で他界して以来、15年あまりが過ぎましたが、彼は絵画だけでなく版画の世界にも大きな遺産を残しています。

1922年に初めて版画に出会ってから、シャガールは15年間に400点以上もの版画を制作、さらに版画出版者テリアード、画商マーグラの協力者を得て、次々に版画集を生み出しました。当時、飛躍的な進歩を遂げつつあった色彩印刷技術も、色彩家シャガールの版画制作に大きく味方することになりました。

この展覧会では、敬虔な宗教世界を表現する『聖書』、華麗な色彩で愛と夢の人生をうたいあげた『ダフニスとクロエー』、生涯愛してやまなかった主題である『サーカス』、詩作から生まれた『ポエム』、ギリシアへの憧れを作品化、詩人ホメーロスに捧げられた『オデュッセイアー』の5つのシリーズを取り上げます。

木版画、銅版画、石版画を自在に操りながら、絵画作品にも通じるユダヤの宗教心、ロシア的な幻想、そしてこの時代に画家が負った人種の悲劇や都市の異邦人の悲哀までも色濃く刻み込んだ版画およそ250点と、画家との交遊のあった写真家イジスのとらえた制作当時を伝える写真によって、版画の巨匠でもあったシャガールをご紹介します。



『ダフニスとクロエー』から
「シュリンクスの物語」

東京アカデミー所蔵
©ADAGP, Paris & BCF, Tokyo, 2002



『ダフニスとクロエー』から
「フィレータースの果樹園」

新津市美術館

☎25-1301

URL <http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

身近な自然 豊かなカルチャー

花と遺跡のふるさと公園

新津市美術館

☎0250-25-1301
<http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142
<http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/>

新潟県立植物園

☎0250-24-6465
<http://botanical.greenery-niigata.or.jp/>